



明 7 巻 6
1227



と何事一忘るは情中少なりは情多て大し
昔よりかこを走廻り一木を尋ねしとけ
方知し川へ舟を投げて死せんや又首とみり
て死せんや明日之日も身廻り上りも色て
四日よるも一取らんあゝの取へ落しととん
やと川岸通し上りてあまうれと取を尋ねし
暁りし雲を一取らば女も又へるお心持い
て去りし体て彼取らば福なりハ女声と
るも女は月ハ大胸の小島を多〜人なりや志
るも〜不あり〜〜尋ねい〜かや〜

は子と名をたてて我々の命も七日の限を
のり一歎き滑りぬれはさやうんと云ふは後東
くけあし出で待し上右村布と酒くくくく
まじき云々ん方好く金子と出しつうのちをい
くく如く金子と出しつうて臨ハ返し何の礼も
や及んぬんは好く是れもつて女子の衣親方の町
あとなまて立ゆき親方つてハ五三巾もゆきさ
まハ如け落ゆきくくくくくくくくくくくく
ゆきくくくくくくくくくくくくくくくくく
何しつて日教立ゆきくくくくくくくくくくく

つゝと下さんや振くやうのくくくくくくく
決しつてくくくくくくくくくくくくくくく
立ゆきぬんて妙布帳面と酒くくくくくくく
帳面初言も遠くはれハ親方も清くも大い学き
機しき筋のきくくくくくくくくくくくくく
不ふ候なる親くくくくくくくくくくくくく
持し給しきくくくくくくくくくくくくくく
高し別家しつて古の書券と受あし高しゆきく
けくくくくくくくくくくくくくくくくくく
人とたりしつて云く候書のうち高し給くくくく

くれば正妻にて逐くはうては女一紙録取の親
方など金よの如くも持ちしと又ハ其より
亦親しきも一ししは依是と考へるもは
弟も世金も取うて金よ及ハるんき所トハ人
亦も右金も取かへつて常と果しんしし
叔母もお侍て親くへも流く如くも法
も一も奈なる。女なりと流所へん百年集の母か
たすなり

大橋

新大橋西度場（新大橋）新大橋（新大橋）

咽り口世浄土の凡俗（凡俗）取小馬き取中と戴き衣裳ハ

帝の如くそ形佛御水マウレ（マウレ）と唱ふ夏類

か？（か）遊里花上 大橋詔法 濡りとそてむら

い 海士 （海士） 海士の系表 大橋（大橋） 比丘（比丘） 厄泊（厄泊） 二基（二基） 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

（好毛別表） 好毛別表 好毛別表 好毛別表

して初進しつゝあか
 の月とくふまけと月
 の光り世六天中間の
 わとひ種くま。帽子
 こそて極ま。頭つ
 きハ西瓜のうけと
 よいきうつゝなれと
 びつむしうとハ昔昔の昔う尾の秋と月とあや
 なる東の遠瀬ハ仲間堅い法初とておてきと
 ぶらハ我方一つが入るます。酒のうせ葉飲と



うり葉のうり事ハ一節ハ事ハさぬ比丘尼
 ハ張もおろしつゝハ脚布も色白ハ流生ハ縁
 原も四方ハ揚銀もまきハもまといきぢも沙
 法水ハ安いハ銭もいハやか虫と土産ハ
 つゆとてハ何ぢも又ハぬと云ハぬまね

比丘尼見世并道中の圖
 此界子曰原
 何年号なり
 正任京保の
 所なり
 未考



近藤勝信筆
 板元やま

宝曆年間
和僧之字



中村長代

中村長代

吉上村

仁田 富士之人元見物
 山東京傳 作
 寛政年中釋文



むくくきくね

くけききねいねの
くおのよふ唇く 時ふふつちの宗

体ハつむきぬの郎中ハ写士の凡葉と表一かんさ
一月の末をわす帯ハ虚空の一因意下結ハ九
島の蓮華とぬと文書ハ世の布施物とすくち流
まそきぬ和泉阿ハ昔はえきハふ束の文と白壁
町とまきハ程りハ云ハとまはハと口舌不安毫の
中直子云ひぬ什同ハ合ハ鯉条屋男と神田の多
町ハ法せハと涅槃の床ハ是ハと法陀のハ官町
世間とそハと丸を取 華里通娼考 比丘尼國 國ハ古
云人物毛ナシ天竺の凡俗ハ道ハ佛法ヲ信シテ

勸進ヲ尋ニスル但シ此國重アリテ夜ナシ大熱
 西ニテ笠ヲ放サス 按ニ此國ノ人性ニ小舟ニ
 棹カシテ深川ノ大泓ノ間ニ遊テ泓中ノ旅客ヲ
 タブラカシ申着ノ底ヲハタカシム或ハ都陽駭
 臺ノ諸邦ニ漂流シテ赤坂奴ノヘソクリ銭ヲ奪
 フ 土産 既中送凡文臺 餅トハ入相ナリ未ト
 ロヲ 豆駭 豆多シ 豆ビンガ、ラ 黒米飯 細腰ヲ好
 食ハサルヤウニス 楚王 右國ノ産物ナリ
 細腰ヲ好ムノ餘凡

大橋

新大橋東今西叔藏地 契國策 遊所方角品 大橋

甚好記 大橋 七女五分 紫麻子 中品深川新大橋 衣

引ハリ 此津土三櫓 表櫓 表櫓 表櫓 髪衣裳 細

小日 一 志 一 美い者 女客と引る 一 一 一 一 一

位安 一 名所 大橋 二 朱 東の 橋 海 一 一 一 一 一

不 一 一 一 江戸 順礼 大橋 小舟 一 一 一 一 一

大 一 一 一 遊里 花上 一 書 大橋 寄 住 一 一 一 一 一

供 一 一 一 考 松 色里 甚孝 記 一 一 一 一 一

橋 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

孝記 安永九年刻 大橋 長 一 一 一 一 一 一 一 一 一

五川 鳥馬 代

大橋 長 一 一 一 一 一 一 一 一 一

向いしを述べて保吉の妻と用ゝ
不_レ出_レし
四_レ坊_ニあ_リて

六回堀

其跡未詳 **紫麻子** 上品大指六回堀 千ヨキ 此浄土
髪の丸衣裳大指 ハ 呼ぶそ_レ引_レす **通人**
麻言 天明二年刻 ち_レ人の間_ノつハ **藤子指** 七按
六回堀と云へ

あ_レけ

深川 **水花** 花町 **契園策** 遊_ニ方角 黄 ち_レけ **紫**

麻子 下品 安宅長 千ヨキ 此の浄土大指六回堀

と_レり_レ但_レ衣裳人_ノつハ 次_レ形_ヲ 呼_レす_レ引_レ

と_レり **石不盤** **水花** 产_ルふ_レは_レの_レ四十八

文字あり 中芥子曰 **江戸** 乱原 正徳 年間安宅水

系_ニ在_リ居_ル古_ノ河_ノ形_ハて_レ始_メ娘_ヲを_レお_シす_レ以_テ

此_レ地_ハハ_レ相_ノ静_カし_テ云_ク **里老**曰 文政年中表_ニ中_ニ

間_ノ口_ヲ論_ルあ_リて_レ廢_ル

本所辺

ひー石と云ひー種なり

契國美 遊所方角島祖土名がハ **甚好記** 土名がハ

七知五分 **紫藤子** 中品 四向流所恒一土名ハ

云 三月ヨハリハ浄土人ハ髪衣裳の若くハ一

ツ月小遠くハ石もささかぬハ世ハ人ハ類と云

テヤマネコト云 **名所鑑** 土名

川 水上一分領も出流也ハ川水今ハ

三味線ナマ場格 **遊里花** 上

士 土名例 **色里基**

孝記 安永九年刻新土名三春とて去見とて五別

高さ七尺五寸在土名柳ありて鏡の形とて十別
高さ新の傍水も古針土名ハ父ハ人歩と入
る事土名土地のくうて葉ナ

俗語 当門赤小出 全猫あり高時水 門前
法印系良葉の名也水も天明ハ北里の坂宅と

なり人ハ一ツ月小遠ハささかぬハ格ナ
系奏 兩國四向流所銀猫 **一** 分の方と全猫

と銀粘と稱と

六軒

栗園某遊二方角園方丑
六軒堂 州堂一分至師安置
領持買指南二
安永七年刻土在川のおい
く六軒のおと
四理全更他
姓と名の娼
古表三娼
六軒下七
六軒下七
六軒下七

龜澤所

市所龜澤町 甚好記 龜澤所 文十
名所鑑 龜澤 氏

所和流等且とと 四十八洲あり

漢系辺

朝鮮長屋

漢系陸天在岷 里老曰 昔朝鮮人
其好りしき本
願り小旅宿して下宿し
とを入る小旅と漢系
門跡境内小建らば
朝鮮人の海國の後
を小建りし
朝鮮考屋と云
策遊二方角某
朝鮮 某麻子
下品上 朝鮮考屋

コノ間此浄土装の凡衣裳是れ以て大極柳の下
 小類と但マウレトト呼ぶ所ありやと一石
 三盤朝鮮山ニ身新寺希とて百具水切り
 江戸順礼そよと尾花中招く堀田宗長仙
 通乳群語傳天明九年刻 漢地と打音朝鮮長也
 設まつーやとそよ

之崎門前

浅草之崎西花院門前 **妻國菜** 遊三方角身好と為
紫麻子 類 之島門前 千ヨレノ 此浄土新大栴の類

人の衣裳少く次水と世俗は類とマルタと云
 花とけ不木橋出張なり神田大工町多町多ハ
 安宅は紅花希と出 **名三盤** 之島寺 此寺小
 武花坊希安宅園とてよみ一筋進帳あり重四
 万希とて七つ区とて毎日仕買帳買か銀百文花
遊里花 上 浅草 モ按 住持の
 前 比五尾 泊ニ乗 **吉世中洲産** 安永六年刻又ハ
 紅屋横町へ百投込のちよ人の間きまう
 云所とけ不と

浅草廣小路

日 駒形町

日 田原町三丁目

日 三好町

豊芥子曰此所元禄十五年五月及宝永二年十一月十一日兩度吉原上書小出

金親寺前

浅草金親寺門前 甚好祀 金親寺前 文二百

門跡前

契園集 遊所方角是門跡前 遊里花 上上 源六

店 小堂前 竹町 堀田原前 跡今按 豊芥子曰

元禄十五年五月及宝永二年十一月十一日兩

度吉原上書小出

新寺町

連近懐室 浅草新寺町 卜唱以場不 下谷廣徳寺門

甚好祀 新寺町 文二百 豊芥子曰 竟文

大通

八年吉原上書小浅草新寺町へ

廣徳寺前

契園菜遊所方角号旗廣徳寺前
但一奥徳寺番小女くは顔あり
マキヨシ印
下浅草新寺町の

らば店

浅草長遠寺恒王寺蓮妙寺善徳寺
下里俗
契園菜遊女方角号旗
甚好祀
世麻子
下品浅草

半世浄土髪衣類直助小日一人
世所もねり引
江戸須礼
志の歌 土齋存

世麻子 下品浅草
小洋子 蕨下小類
村 派中巻
羅あり村名院
えり巻の服

柳の下

浅草寺町通大冨院門前里俗柳稻并横町 世麻子
中端浅草柳、下マヨニ中、以淨土ハ大極山下の
類好々盤の凡之りト及々凡之り日明町の上下
くへきぢれとも寺と自若く不安一祖一具徳
寺前上女々け類あり 世の系卷 下谷柳稻奇 四二
切ニ

万福寺

浅草万福寺門前 契國菜 遊女方角若狭万福寺 菜
麻子 上下品 万福寺門前 マヨニ 半 世淨土曼衣類形朝

小口一組一引々 名二鑑 万福寺 以寺小
五十相持あり 江戸順礼 河豚汁中あり ハ
下万福寺 万福寺

馬道

浅草南馬路新町 里俗 糸天栢町又 契國菜 遊女方
角若狭馬道 甚好記 馬道 外五 世麻子 上下品 上下及
百一 マヨニ 以淨土中物事静うて人々が盤の此地
娘と以ふたてゐて人月と馬の結心坂さき ガハ
名二鑑 馬道 一分油道 水 河原 ハ 志

の重荷は改めし物也
不辨し不^レ妨^レす也ハ
十二
父兼
遊里花 上上 福系了^レ 粹也
如^レの系奉 漢系馬道

智乐院門前

遊芥子曰 延宝八年古原上書小久也

新寺歌

遊里花 上
「市兵上町六
世子院相殿
佃歩場
」
新寺歌
入白町

